

2008年3月6日

3月9日(日)より

## 「コーポレートシンボル」マークを既存車両に表示します。

グループビジョンの実現に向けた経営姿勢をシンボリックに表現したマークを表示し、  
当社の企業イメージをお客さまに分かりやすく、見える形でお伝えします。

西武鉄道(本社:埼玉県所沢市、社長:後藤高志)では、2008年3月9日(日)より、  
既存車両の車体側面に、当社の「コーポレートシンボル」マークを表示、展開します。

これは、2007年4月1日より使用開始した「コーポレートシンボル」を、現在、当社が  
保有している全206編成(電気機関車・貨車を除く)の車両側面の乗務員室とドアの間に  
表示することにより、当社の企業イメージをお客さまに分かりやすく、見える形でお伝え  
するものです。

シンボルマークは、西武鉄道の「西」がモチーフで、2つの輪は、人と人、地域と地域、  
都市と自然など、鉄道によってさまざまなものが出会い、交わり、つながる姿を表してい  
ます。マーク全体が果実のように見えるデザインは、その交流によって生まれる「実り」、  
「地域・社会の発展」を表しています。若葉を思わせる上部のグリーンは「自然との調和」  
を、落ち着いたブルーは「信頼」「安全・安心」、明るいブルーは「新しいことへの挑戦」  
をイメージしています。

「コーポレートシンボル」マークが展開された車両は、池袋線、西武秩父線、西武有楽  
町線、豊島線、狭山線は3月9日(日)より、山口線(レオライナー)は3月10日(月)  
より、新宿線、拝島線、西武園線、国分寺線、多摩湖線は3月13日(木)より、多摩川線  
は3月15日(土)より運転を開始します。

詳細は別紙のとおりです。



SEIBU

「コーポレートシンボル」マーク



2000系の表示例

## 「コーポレートシンボル」マークの既存車両への表示に関する概要

1. 展開開始日 (予定)
  - 池袋線、西武秩父線、西武有楽町線、豊島線、狭山線  
3月9日(日)
  - 山口線(レオライナー)  
3月10日(月)
  - 新宿線、拝島線、西武園線、国分寺線、多摩湖線、  
3月13日(木)
  - 多摩川線  
3月15日(土)
2. 対象車両


20000系(16編成)	10000系(12編成)	9000系(8編成)
6000系(25編成)	4000系(12編成)	3000系(9編成)
2000系(83編成)	101(301)系(38編成)	8500系(3編成)
3. 表示場所 乗務員室とドアの間の車体側面  
1編成につき、4箇所に表示します。

以 上